

ヨナル・バレエの開演を待ちわ
 ◇◇ロ◇◇ンドンのコロシウム
 劇場・インターナシ

されて、観衆はこれに敬意を表
するのが、しきたりとなってい

ロンドンから出る汽車の大部
分は、黒煙もうもつたる蒸氣機

◆◆マ◆◆
角。私はラッシュア
ール・アーチの街

ととらえるロンドン児はえら

笑いとはして機上に落着いた私は、友人の予言がピッタリだった。

の列車に乗りうとした私は、その機関車が如何にも古くさい石炭焚きの蒸気機関車であるのに面くらった。客車も何十年まえのものか、うすよれて頑丈な座席。

× × ×

の教にはきまりがあって、とくに混んでいてもそれ以上は乗せない。バスの中では、女車掌が最上の権威者。……日本の国鉄私鉄バス都電地下鉄汽船飛行機（ああ、きりがなし）。グッ

「英國に三年もいると、随分
ひがみつぽくなるものだ」と
するのには誰れだと思ふ」と。

見せつけられた英国人氣質

もり
森

一かす

久世

◇◇口◇◇
 インドンの飛行場。ウ
 ーロン行きの客は国

力発電所の調査を終った私は、
「英国の金保有は戦後最高」と

100

国国歌の吹奏であつた。観衆は一人のこらす敬けんな面持で威儀を正している。やがて国歌がおわり、おもむろにバレエが始まつた。

る。私のような日本人にとつては、これはいかにも時代錯誤とみえた。

× × ×

関車で、その駅も戦争直後の上野駅にちかい、おせじにもきれいとはいえない代物である。蒸気機関車は、石炭の九〇割以上をススとしてロンドン市民の頭

ワ一のバスを待つ長蛇の列の中にまじっていた。ガラ空きの二階バスがとまる。美しい女車掌の「五人！」という声に五人だけが整然と乗る。誰も不平をい

際色豊かである。やがてアナウンスとともに、改札がはじまる。ゲイトのところで五分ほどまたざれたあと、スチュアデスの先導で旅客は飛行機に向つて

報じるロンドン・タイムズを脱
みながら、国際原子力機関総会
出席のため、ウィーンへ向った
のである。

英国の劇場や映画館では、陸演が終演のとき、かならず国歌が吹奏され、女王の写真が映写

◇◇ 口の
◇◇ 駅。英国でも幹線の
部類に属するパーミンガム行き

上にふらせ、有名なロンドンの
スモグ（煙霧）の原因の一つと

うものはない。

ロンドンでは、バスで立つ人

急ぐ。

そのとき、同行の友人が肘を

(筆者曰：大原寸方、西条公経の
査課長)